

2021

第 69 回 全日本吹奏楽コンクール

第 21 回 東日本吹奏楽大会

第 27 回 東関東吹奏楽コンクール

予 選

第 61 回茨城県吹奏楽コンクール  
第 34 回中央地区大会

# 〔運営要項〕

一般社団法人茨城県吹奏楽連盟中央地区

第 61 回茨城県吹奏楽コンクール

# 第 34 回中央地区大会

〈 期 日 〉

令和 3 年 7 月 24 日（土） 高等学校の部 C 部門，高等学校の部 B 部門，中学校の部 A 部門

令和 3 年 7 月 25 日（日） 中学校の部 C 部門，中学校の部 B 部門

〈 会 場 〉

ひたちなか市文化会館 大ホール  
ひたちなか市青葉町 1-1 TEL029-275-1122

〈 主 催 〉

一般社団法人茨城県吹奏楽連盟・朝日新聞社

〈 主 管 〉

一般社団法人茨城県吹奏楽連盟中央地区

〈 後 援 〉

茨城県教育委員会，ひたちなか市教育委員会，茨城文化団体連合  
茨城県教育研究会音楽教育研究部，茨城県高等学校教育研究会音楽部  
茨城県高等学校文化連盟，茨城放送

## 組 織

### 1 役 員

中央地区大会役員	氏 名
中央地区大会会長	仁平 良治
中央地区大会実行委員長	横須賀 義章
〃 副委員長	遠藤 龍郎, 岡田 宏之, 鎌田 智之
〃 委 員	市毛 彩子, 岩浪 麻美, 内田 喜嗣, 大竹 美路, 荻沼 啓一, 小田嶋 孝 栗股 靖典, 桑名 洸典, 小谷 忠, 塩澤 恭平, 塩谷 直人, 首藤 美香 瀬戸山 遼介, 長沼 純平, 蒔田 宜幸, 藤枝 馨子, 船山 貴司, 宮内 慶樹 山口 正男, 山岸 正樹
〃 事務局主事	萩庭 宏子

### 2 審査員 (敬称略五十音順)

氏名	専 門	7月 24 日(土)	25 日(日)
緒形 まゆみ	指揮・指導	○	○
貝沼 拓実	サクソフオーン	○	○
砂川 隆丈	トランペット	○	○
中舘 壮志	クラリネット	○	○
並木 博美	ホルン	○	○
堀尾 伸二	打楽器	○	○

# 第 61 回 茨城県吹奏楽コンクール第 34 回中央地区大会 実 施 規 定

## 【部門及び人員】

- 1 以下の部門を開催する。
  - (1) 中学校の部A部門, 中学校の部B部門, 中学校の部C部門
  - (2) 高等学校の部B部門, 高等学校の部C部門
    - ※ A, B部門については, 優秀団体を県大会(茨城県吹奏楽コンクール)へ推薦する。
    - ※ 各部門とも同一経営外の団体との合同出場(何校でも可)を認める。
    - ※ A部門に参加する団体はC部門に参加できるが, B部門に参加する団体はC部門に参加できない。
    - ※ 前年度コンクール申込時の部員数調査で, 1・2年生部員が36人以上の団体は, B部門に出場できない。
- 2 参加人員は以下のとおりとする。
  - (1) 中学校の部A部門 50名以内
  - (2) 中学校の部B部門, 高等学校の部B部門 30名以内
  - (3) 中学校の部C部門, 高等学校の部C部門 自由
  - ※ 指揮者は参加人員に含まない。

## 【参加資格】

- 3 中央地区内に所在していて, 当該年度総会までに会費納入済みの一般社団法人茨城県吹奏楽連盟加盟団体。
- 4 各部門の参加資格は以下のとおりとする。
  - (1) 中学校の部 構成メンバーは同一中学校に在籍している生徒とする。  
(義務教育学校及び同一経営の学園内小学校児童・中学校生徒の参加は認める)
  - (2) 高等学校の部 構成メンバーは同一高等学校に在籍している生徒とする。  
(中等教育学校及び同一経営の学園内小学校児童, 中学校生徒の参加は認める)
  - ※ 学校再編整備計画に伴って統合される学校は, 学校名が異なっても同一校とみなす。
- 5 同一奏者が二つ以上の部門に重複して出場すること及び二つ以上の団体に所属することを認めない。
- 6 A部門の課題曲と自由曲は, 同一のメンバーで演奏しなくてはならない。
- 7 指揮者の資格は問わないが, A部門課題曲, 自由曲ともに同一人が指揮すること。  
なお, 同一指揮者が同一部門の二つ以上の団体を重複して指揮することは認めない。
- 8 やむを得ず指揮者を変更する場合は, 当日受付終了時刻までに, 指揮者変更届(地区長宛に理由を明記する。県吹連ホームページよりダウンロード可)を提出すること。
- 9 審査員の公表後は, 審査員との一切の接触を認めない。これに違反した場合は, 茨城県吹奏楽コンクール実施規定14条に準ずる。
- 10 参加団体の資格に疑義あるときは, 出場停止又は入賞を取り消すことがある。

## 【課題曲・自由曲及び演奏時間】

- 11 茨城県吹奏楽コンクール実施規定第11条に準ずる。  
ただし, C部門においては自由曲のみ演奏し, 演奏時間は7分以内とする。

## 【コロナ禍等による不測の事態への対応】

- 12 **コロナ禍等の不測の事態により実演参加が不可能になっても, 音源を提出することにより, 審査対象とする。**

## 【出演順, 審査及び表彰】

- 13 出演順は地区総会において行う抽選により決定する。
  - ※ 合同で参加する場合は, 抽選順の一番早い団体の抽選順を適用する。
- 14 審査は, 本年度理事会の決定により6名の審査員で行う。審査員は主催者により選任し, 地区総会以降, 決定次第公表する。
- 15 A部門は課題曲, 自由曲を同割合で審査する。
- 16 表彰は部門ごとに「優秀賞」「優良賞」「努力賞」のいずれかを贈る。

## 【審査基準】

- 17 審査基準は茨城県吹奏楽コンクール実施規定17条に準ずる。

**【地区代表推薦】**

18 各部 A・B 部門の優秀賞を受賞した団体の中から茨城県吹奏楽コンクールへ地区代表として推薦する。

※ 推薦数は、当該年度の各地区参加団体数を基準として、その年度ごとに決定される。

※ 茨城県吹奏楽コンクール出場締切前に地区代表に推薦された団体が出場不可能になった場合は、次点の団体が出場するものとする。

**令和3年度 中央地区代表団体数一覧**

中学校 A	中学校 B	高等学校 B
7	9	3

第 61 回 茨城県吹奏楽コンクール

会場：ザ・ヒロサワ・シティ会館  
(茨城県立県民文化センター)

8月 7日 (土) 高等学校の部 A 部門

8月 8日 (祝日) 大学の部, 職場・一般の部

8月 9日 (祝月) 中学校の部 B 部門

8月 10日 (火) 小学生の部, 高等学校の部 B 部門

8月 11日 (水) 中学校の部 A 部門

## 第 61 回 茨城県吹奏楽コンクール第 34 回中央地区大会 諸 注 意 事 項

- 1 出演者受付…決められた時間以前の受付は不可。受付時間に出演者全員で受け付け及び検温を行う。  
(37.5℃以上の方は入場不可。) また、出演者代表者は下記の手続きをする。
  - (1) 出演者代表者は団体名を告げ、当日の朝、すべての出演者及び関係者の健康チェックを行った名簿①(引率者、出演者、楽器運搬手伝い)(別紙様式 1)を出演者受付に提出する(中央地区HPのコンクール→関係ファイルよりダウンロード)。
  - (2) 参加負担金(A部門 15,000 円, B・C部門 13,000 円)及び、申込書に記載した人数分の個人参加負担金(1人 1,200 円)、郵送料(500 円)を現金で納入する。出場人数増の場合は、その分の個人参加負担金を別に精算する。減の場合は、出演章を調整し、減額はしない。
  - (3) 各団体の事情により、出場辞退や音源審査となった場合も、後日振り込み等により(2)の負担金を納入する。
  - (4) 誘導開始予定時刻の変更有無を確認する。
  - (5) ステージ配置図=5部を提出する。(中央地区HPよりダウンロード可)  
※ ステージ配置図には楽器名も書き入れること。
  - (6) 出演章(出演者+指揮者)、プログラム(出演者分)、楽器運搬人(顧問を含む)のリボン 20人分を受領する。
  - (7) 進呈プログラム1部を受領する(合同出場の場合は、1校につき進呈プログラム1部を受領する)。
  - (8) 参加負担金等の領収書及び団体名が印字された賞状を受領する。
  - (9) 入館するすべての関係者全員は、受付で検温後
  - (10) チャイム等の楽器を借用する場合(要事前申込)は、借用料を納入する。  
金額は以下のとおりとする。
    - ① チャイム 1,000 円
    - ② ハープ 3,000 円
    - ③ その他 借用申請があった場合に別途協議して示す。
  - (11) ピアノを使用する場合は、ピアノ使用料を納入する。  
ピアノ使用料 2,000 円
- 2 鑑賞者受付…決められた時間以前の受付は不可。受付時間に鑑賞者代表者が下記の手続きをする。
  - (1) 当日、すべての鑑賞者の健康チェックを行った名簿②(学校関係者、部員保護者)(別紙様式 2)を鑑賞者受付に提出する。(中央地区HPのコンクール→関係ファイルよりダウンロード)
  - (2) 入館するすべての関係者全員は、受付で検温後に入館する。 ※ 37.5℃以上の方は入場不可。
- 3 楽器置場(コミュニティ棟 1F 展示室及び 2F 3F 会議室、学習室)・・・指定された時間内のみ利用し、演奏終了後はすみやかに搬出する。
  - (1) 指定された場所に各団体でまとめて置く。緊急避難時に備え、通路を確保する。
  - (2) 各団体の置いた場所に管理責任者を置く(ケースに目印を付け、小さくまとめて置く)。
  - (3) 演奏終了後はすみやかに搬出し、後の団体の使用に差し支えないようにする。
  - (4) 楽器の紛失、破損等の事故の責任は当連盟及び中央地区では負わない。
  - (5) 借用する楽器(ハープ、チャイム等)はステージ袖に準備してある。調弦等は使用団体で行うこと。
- 4 誘導・・・移動に際しては、マスクを着用し密集・密接に気を付けながら移動する。
  - (1) 各団体責任者は、誘導開始前に出演章及び楽器運搬人のリボン(左上腕部に着ける)を確認する。
  - (2) 誘導開始時刻には、管楽器のメンバーのみ誘導受付に演奏できる状態で、密にならないよう

気を付けながら集合する。

- (3) 打楽器と管・弦楽器との誘導経路は異なるので注意すること。
- (4) 打楽器の設置及び撤去については、短時間で行えるための態勢を整えておくこと。  
なお、打楽器移動は各団体で全て行うこと。管楽器とは誘導時間・経路が異なるので十分な人数の楽器運搬人（20人以内）を各団体で準備すること。係員は手伝えない。
- (5) ティンパニーや鍵盤楽器等で通路の床を傷つけないよう配慮すること。万が一傷つけた場合は速やかに本部に連絡すること。
- (6) タイムテーブルはあくまでも目安であるので、時間に余裕をもって行動すること。
- (7) 移動に際しては誘導係の指示に従い、密にならないよう気を付けながら敏速かつ静粛に行動する。

## 5 リハーサル及びチューニング（小ホール及びリハーサル室）・・・音出しは、方向、間隔及び結露水の処理に気を付けて行う。

- (1) 指定された場所で指定された時間を利用して行う。指定以外の場所では絶対に音出しをしない。
- (2) 管楽器奏者の音出し時には、各自専用の吸水マットやタオル等を準備し、結露水を床に捨てない。
- (3) 会場内での打楽器チューニングは、打楽器搬入後に打楽器置き場で行う。打楽器はリハーサル・チューニング室には入れない。ハープは楽屋前廊下でチューニングする。舞台裏でのチューニングはできない。
- (4) ステージでは、演奏時を除き音を出さない。（ティンパニのチューニングも不可）

## 6 演奏・・・ステージ上の椅子は固定とする。（ステージ配置図は、中央地区HPにアップ）

- (1) 指揮者・演奏者は、入場する際必要になるので常に出演章を左上腕部に着けておく。
- (2) **出演者は移動時にはマスクを着用し、演奏時のみマスクを外す。また、管楽器奏者は吸水マットやタオル等を準備し、ステージ床に結露水を捨てない。**
- (3) 前団体の演奏終了後、**5分間で持参した**譜面台、打楽器等のセッティングを済ませる。  
（打楽器が多い場合は、管楽器奏者に準備・片付け手伝いをしてもらうなどの工夫をする）
- (4) 指揮台、指揮者用譜面台は常設とする。
- (5) ピアノの位置は客席から見てステージの右（上手）側とする。**今年度はステージ上の椅子が固定されているため、ステージ配置図にピアノ位置を明記された可能な範囲のみのピアノ移動を認める。**  
また、ピアノは会場備品のため、通常のピアノ演奏を超えた弾き方（弦を直接弾く・たたく、ふたを取り外すなど）は禁止とする。
- (6) **ピアノ奏者は、演奏開始前及び終了後に、備え付けのアルコールによる手指消毒を必ず行う。**
- (7) ステージでは、演奏時を除きティンパニのチューニングを含め音を出さない。
- (8) 指揮者は演奏者と同時に入場し、指揮台の横で待機しアナウンスを待つ。アナウンス終了後、**「礼」はせずに、直ちに演奏を開始する（出演者は着席のまま）。演奏終了後は演奏者を起立させずに、指揮者のみ「礼」をして直ちに退場する。**
- (9) 各団体は打楽器の搬入・搬出が一度ですみやかにできるよう事前に十分指導しておく。搬入は指揮台の前（**迫り上げたオーケストラ・ピット部分**）を通す。
- (10) 各団体のタイムキーパーは、ステージ下手側に2名（楽器運搬人に含める）までおくことができる。

## 7 録音録画・撮影

- (1) 著作権法により、当連盟が委託した業者以外の録音録画・撮影を禁止する。
- (2) 録音機・カメラ・ビデオはホール内への持ち込みができない（持参した場合は、受付に預ける）。
- (3) 以上のことを各団体関係者に周知徹底する。

## 8 鑑賞

- (1) **今年度は各団体関係者（学校関係者、部員保護者）のみの入場となり、自団体1団体のみ鑑賞できる。鑑賞には入場整理券（無料）が必要である。**

- (2) 各団体関係者分の入場整理券（無料）については、A部門＝100枚、B部門＝60枚、C部門＝出演者数×2枚、さらに各団体に学校関係者分3枚を加えて配付する。  
なお、出演者は他団体の演奏を鑑賞できない。
- (3) 客席での飲食は、一切禁止とする。
- (4) 演奏中の私語、移動及び演奏後の歓声は、審査の妨げになるので厳に慎む。
- (5) 客席では、時計のアラームを解除するとともにスマートフォンを含む電子機器の電源を必ず切る。
- (6) A部門においては、課題曲と自由曲の曲間で拍手はしない。
- (7) 鑑賞する各団体関係者は、除菌ウェット・ティッシュ等を持参し、使用した客席の肘掛けのみを消毒した後退出する。
- (8) 3歳未満の乳幼児は客席に入場できない(今回はコロナ対策のために、母子室の使用は不可)。
- (9) 鑑賞マナーが悪く、審査の妨げになると判断した場合は退場させることがある。

## 9 駐 車

- (1) 第1駐車場は、出演団体バスのみ駐車できる。楽器運搬車両表示票をフロントガラスの見えるところにおく(障害者枠が必要な場合は、本部へ連絡する)。
- (2) 第1駐車場の一部は楽器運搬車両の待機場所とする(表示のある車両のみ)。
- (3) 第1駐車場のコミュニティー棟に近い部分は、大会役員、審査員、係員、録音・撮影業者の駐車場所とする(駐車許可証のある車のみ)。
- (4) ホール裏駐車場は、打楽器の搬入・搬出場所になるので楽器運搬車両以外は入れない。楽器搬入の終わった車両は第1駐車場の車両待機場所に移動すること。  
楽屋入口付近での駐車及び楽器の積み降ろしは禁止する。
- (5) 一般の自家用車は第2、3駐車場に駐車できるが、駐車台数に限りがあるので、公共交通機関を利用するか有料駐車場を利用するように各団体関係者に周知する。  
会場向かいのケーヨーD2、ツルハドラッグの駐車場には絶対に駐車してはならないことも周知する。
- (6) バス、トラックは係員の指示により決められた場所に駐車し、駐車又は待機中のエンジンは切ること。

## 10 結果発表

- (1) 各部門、終了後に審査集計を行い、その結果は中央地区HPに掲載するとともに、各団体には後日郵送にて発表する。**表彰式は行わない。**

## 11 その他

- (1) 事前打合わせは行わない。
- (2) 各団体は、大会係員の指示に従って行動する。
- (3) 児童生徒は鑑賞できない。
- (4) 出演団体バス、楽器運搬車両に団体名を表示する(送付された表示票を必要枚数コピーして使用する)。
- (6) 更衣室は用意しない。
- (7) タイムテーブルはあくまで目安であり、当日の進行状況によって前後する可能性があることを観覧予定関係者に周知しておくこと。
- (8) 天災、人災等を問わず非常事態が発生した場合、大会参加の可否については各所属長、団体長が判断する。その際、原則として参加負担金等の返金はしない。
- (9) 事故対策は、各団体で責任をもつ。
- (10) 出演団体の関係者・保護者がトラブルを生じた場合は団体責任者に間に入ってもらうこともある。
- (11) 開催中に避難を要するような災害が発生した場合は、係員の誘導で迅速かつ安全に避難する。



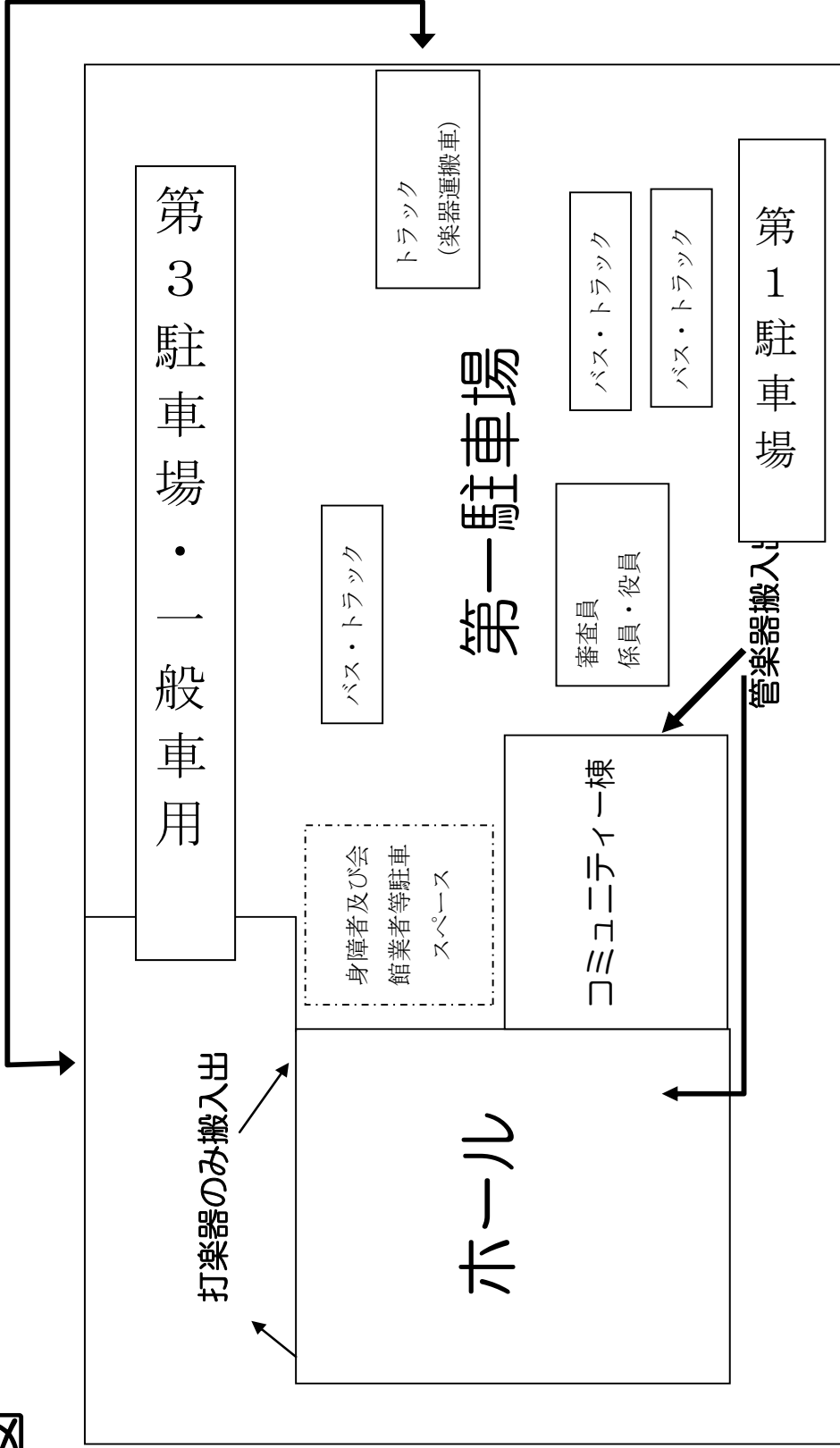
(12)その他、問題が生じた際は、各団体の責任者を通じて大会本部に連絡すること。

(13) コロナ禍等の不測の事態に備えた音源審査を行うこともある。その場合、当日出演者受付に音源と負担金を提出することにより、音源審査に参加できる。

※ 今後のコロナ感染症対策等に関する変更点等については、中央地区HP及びメールにてお知らせします。

※ 大会当日緊急連絡先  
中央地区事務局主事（萩庭携帯 090-4718-5015）

# 会館配置図



第2駐車場 (引率・一般)

台数に限りがあります

ケーヨーD2

ツルハドラック

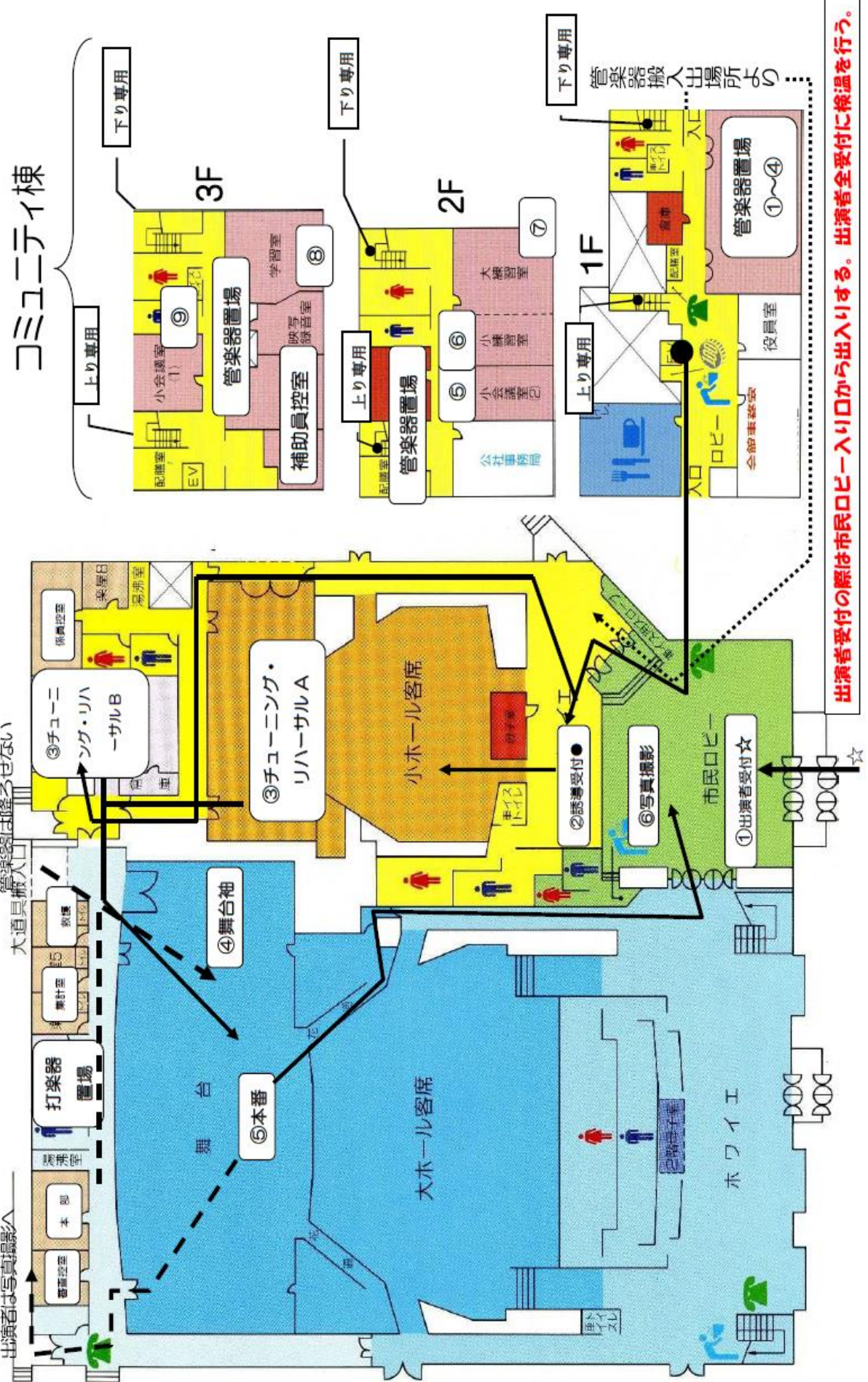
絶対に駐車してはならない!!

令和3年度第61回茨城県吹奏楽コンクール

第34回中央地区大会誘導経路図

打楽器のみ搬出  
出演者は写真撮影へ

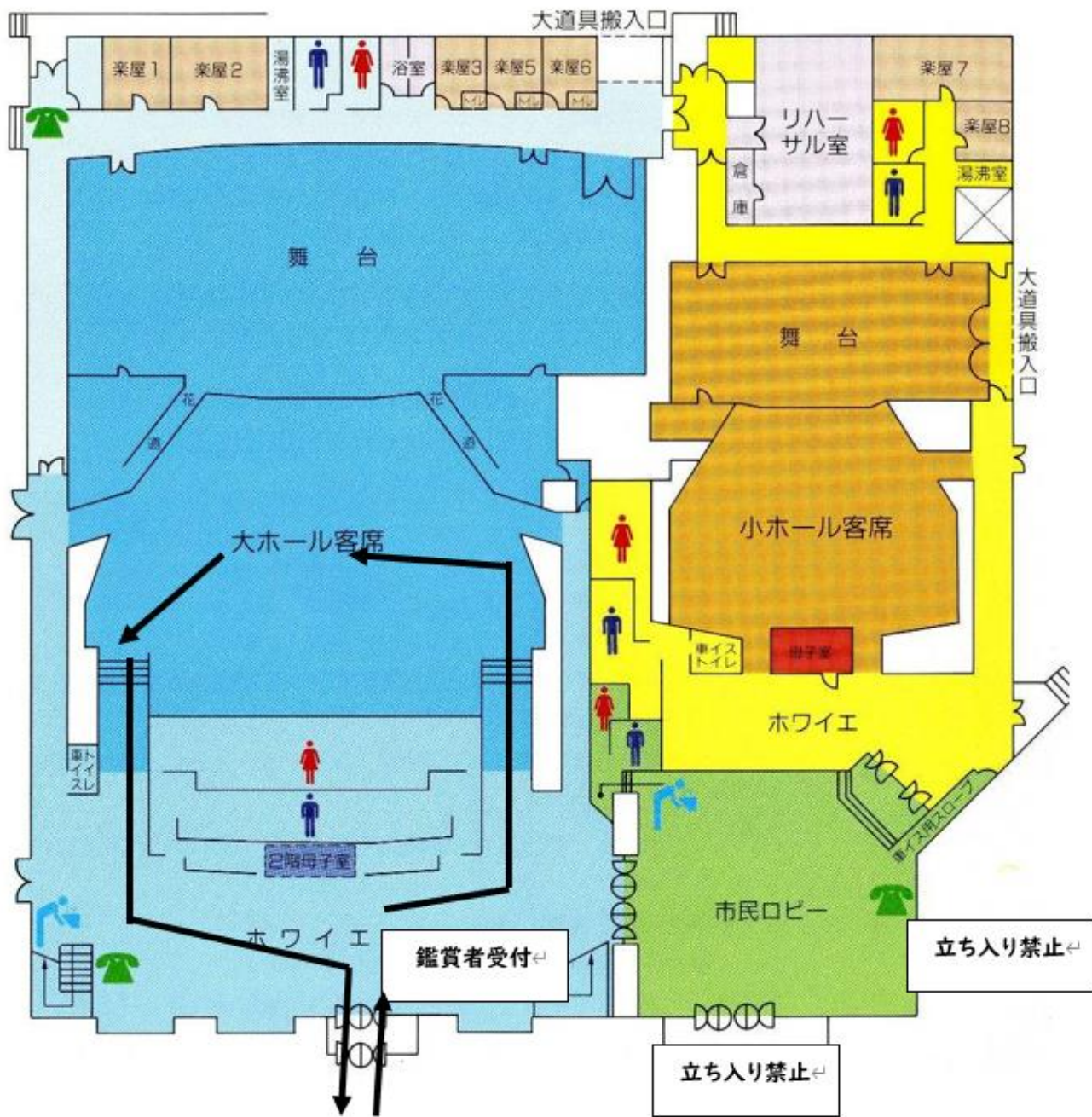
打楽器のみ搬入  
管楽器は降ろさない



出演者受付の際は市民ロビー入り口から入りする。出演者全要付に検温を行う。

令和3年度第61回茨城県吹奏楽コンクール

第34回中央地区大会鑑賞者誘導経路図



# 経路解説

## 出演者(本番まで)

- ア バス、楽器運搬車ともに会館わきの第1駐車場に駐車してください。警備員が誘導します。
- イ 第1駐車場で生徒は乗降してください。さらに、管楽器も降ろしてください。(楽器運搬車に打楽器と管楽器を一緒に積む場合は、最初に管楽器を降ろせるよう工夫してください。)
- ※ 楽器運搬車に管楽器を積まない団体はタイムテーブル通りの時間に楽器運搬車を直接裏手に回してもかまいません。
- ウ 出演者は①出演者受付で全員検温を行います。管楽器は管楽器置き場に移動します。
- エ ①**出演者**受付で受けとった打楽器運搬人用リボンか出演章を左上腕部に忘れずに着けてください。
- オ タイムテーブルに従い楽器運搬車を会館裏手に回し、打楽器を降ろし搬入します。①**出演者**受付で受けとった打楽器運搬人用リボンか出演章を左上腕部に忘れずに着けてください。
- ※ 打楽器置場を経由してステージに向かいますが、楽器運搬車から打楽器置場までは、リボンは必要ありません。打楽器運搬人だけでなく、なるべく多くの人員で効果的に素速く荷降ろしをしてください(ただし、打楽器置場からステージまではリボンが必要になりますので注意してください)。打楽器はステージ袖まで管楽器と別行動になります。
- ※ 打楽器のカバー、ケースはここで外して、楽器運搬車にしまってください。打楽器置き場にケースやカバーを置いておくことはできません。
- カ 管楽器は搬入後、決められた管楽器置場にてケースから出し(ケースは管楽器置場に演奏終了まで置いておくことができます)、タイムテーブルの誘導開始時刻までに演奏ができる状態で②誘導受付に集合してください。
- ※ 出演章を左上腕部に着けることを忘れないでください。
- キ **今年度は、②誘導受付より本番後の写真撮影までの誘導係員は付きません。**③チューニング・リハーサルに進み、ステージ袖で打楽器と合流して本番です。スムーズに入退場ができるように(打楽器出し入れも含めて)よく練習しておいてください。

## 出演者(本番後)

- ア 管楽器は、上手花道より退場し、すぐに⑥写真撮影に向かいます。
- イ 打楽器は搬出場所より会館の外に出します。その後の積み込みは、お手伝いの方(打楽器運搬人でなくても可。楽器積込だけならリボンは必要ありません)にお願いして、出演者は速やかに⑥写真撮影場所に向かってください。
- ウ 楽器運搬車は搬出時間厳守で打楽器を仮積みして第1駐車場へ移動してください(第1駐車場で打楽器の積み直しを行うこともできます)。
- エ 写真撮影終了後、管楽器担当の生徒は管楽器置場に行き、楽器を片づけ、第1駐車場へ向かって下さい。打楽器担当の生徒は直接第1駐車場に行き、必要があれば楽器の積み直しを行ってください。

## 出演者(その他)

- ※ 打楽器の搬出場所は屋根がありません。各団体で雨対策をお願いします(カバー、ブルーシート持参等)。
- ※ 楽器運搬車に管楽器もものせてくる団体は、バスと一緒に第1駐車場に入り、初めに管楽器を降ろし、会館裏手に移動して次に打楽器を降ろすという手順です。乗務員に連絡・指導を徹底するとともに、荷降ろしの順序を配慮して積み込んでください。
- ※ 各団体で打楽器運搬人をなるべく多く依頼し(リボン着用は20人まで。楽器運搬車積み降ろし時にはリボンの必要はないので20人以上でも可)、打楽器運搬人と打楽器担当生徒で打楽器の積み降ろしが行えるように(管楽器の生徒が手伝わなくても大丈夫なように)してください。
- ※ 近年、打楽器運搬人のマナー低下が指摘されています。特に、卒業生等に依頼する場合、服装、態度等の

指導も行っていただきますようお願いいたします。なお、ヒールのある靴、サンダル等は、運搬の際たいへん危険ですので、指導徹底をお願いいたします（保護者の方へもご連絡ください）。

## **鑑賞者**

ア 各団体の鑑賞者は、受付時間直前に、会館大ホール・ホワイエ南側出入口前付近に密にならないように集合する。特に、早めの来場・集合については、駐車場スペースの確保及び熱中症予防の観点から、ご遠慮ください。

イ 受付時間になったら、鑑賞者代表者は、名簿②を鑑賞者受付に提出し、入館するすべての鑑賞者全員が受付で検温を済ませて入館し、ホワイエにて待機してください。

ウ 入場時間になったら、係員の指示に従い、1階上手側(ステージに向かい右側)出入口から入場し、自団体の演奏を鑑賞してください。入場の際、各鑑賞者は、入場整理券裏面に学校名及び氏名を事前に記入しておく、会場入口で提出してください。

エ 自団体の演奏終了後、持参した除菌ウェット・ティッシュ等で使用した客席の肘掛けのみを消毒した後、係員の指示に従い、1階下手側(ステージに向かい左側)出入口から退出してください。

オ 退場後は、そのまま会館大ホール・ホワイエ南側出入口へと進み退館してください。